

昨年9月、おたふくかぜが原因で右耳が全く聴こえなくなりました。入院して治療を受けましたが効果はなく、後は薬を服用して回復を待つしかないが難しいかもしれない、とのことでした。他に何か治療法がないか調べたところ、鍼で難聴が改善したという事例がネットに載っていて、かなり迷いましたがやってみることにしました。

治療を始めるにあたって身体の状態も診てもらったところ、全身の筋肉が凝り固まっているとのこと。耳の聴こえと身体の血流は大いに関係があるらしく、一緒に治してもらうことにしました。健康な体では指圧されても何も感じないそうですが、どこを押されてもとても痛くて特に背中では、触られただけでくすぐたくて我慢できないほどでした。今まで自覚症状がなかったので普通だと思っていましたが、そうではなかったのです。

鍼は未経験なので最初はやはり怖くて不安でした。自分は神経質な方で、1本1本打たれるのを意識しすぎて緊張の連続でした。今ふり返ると、怖いという気持ちが痛みを増させるような自己暗示になっていた気がします。何回か続けていくうちに、痛みも含めてこういうものなんだと分かってきて、気分的に楽になりました。治療を受けた後は体にだるさのようなものが残っていますが、その日はいつもよりぐっすり眠れて翌朝は心身ともに前より軽快になっている、そう感じられてきました。

最初は体の右側だけ集中的に取り組んでいて、自宅で試しに両腕を曲げたり伸ばしたりを繰り返す動作をしたら、明らかに右と左とで違いがあって驚きました。右腕は全く抵抗感がなくスムーズに動いて、今までにない不思議な感覚でした。左腕の方はごちなさが重くあり、ただそれまではこれが普通だったので、こうして比較することで自分の体の状態が分かり、鍼の効果を実感しました。

慣れてくると鍼が太くなり、打つ本数も増えて本格的な治療になっていきましたが、あまり意識したことはなく、

いつの間にかという感じです。打たれる際の鈍くて重い痛みがきつい時もありますが、日々身体が良くなって

いくのが分かるので、痛がりの自分でも頑張ることができているのだと思います。

以前の腕や脚は触ると硬く、男はこういうものだと思っていましたが、今ではとても柔らかくなり、健康な筋肉の

状態を知ることができました。どうしようもないのではと思っていた背中も、いつの間にか平気になって驚いて

います。

実生活の中では、歩く時にまず肩周りが軽くなり、今は脚の動きなど全身が楽に感じます。睡眠も変わっ

てきて、それまでは寝つきが悪く、朝起きてもまだ寝足りないようなだるさがありましたが、布団に入るとすぐ

に眠れるようになって、目覚めもすっきり良くなりました。

難聴になってから健康な身体や生活を心掛けるようにしているので、そういうことも変わってきている要因

の中にあるものと思います。その上で分からないことや気になることなど、先生に相談してアドバイスを

もらっています。

鍼によって改善したことも多かったのですが、耳の聴力は残念ながら回復しませんでした。治療を始

めてしばらくすると耳鳴りの音に変化が現れて、良くなる傾向のようで期待しましたが、それ以上変わ

ることはありませんでした。今は良好な状態を保っていますが長年難病を患っているのも、それも

影響しているのかもしれませんが。病院の治療では何も起きなかったのが鍼だと反応はあったわけで、それ

だけでも驚きでしたし、やれることはみんなやってもらって満足しています。

耳がきっかけて始めた鍼ですが、分からなかった身体の悪いところを見つけて治療することができて良かった

です。全身の血流が滞ったまま年齢を重ねていったらこの先どうなっていたらと、その効果を実感  
しています。これからも健康と聴こえる側の耳の状態を保つ為に続けていこうと思っています。